

福岡に棲む日々

祝！連載スタート篇

連載をスタートするにあたり、まずは自己紹介から始めさせていただきます。わたしは岡山と宮崎のハーフで年齢(よわい)54歳、脳内永遠の14歳のただのおじさんです。岡山を離れて早20年、福岡在住は通算で15年弱になります。

岡山在住時に「うしろCAMELOT」と創刊2年めくらの頃からチラホラ関わらせていただいております。この度そんな縁もあって編集長OYAMAより「記事書いてみない」とお言葉掛けをいただき、「一丁やってみるか」と無謀にも連載させていただきます。運びと相成った次第であります。よしければお目汚しにさっさと読んでいただけると幸いです。

タイトルは司馬遼太郎先生の著書『世に棲む日々』から取らせていただきました。こちらの作品は吉田松陰と高杉晋作を題材にした歴史小説でとても面白いので興味のある方は是非読んでみてください。

そんなタイトル『福岡に棲む日々』と言っても偉人が登場する事などは一切なく、福岡や九州を紹介するだけでもなく、わたしの日常の出来事などをその時々書きたいテーマで書き連ねさせていただきます。と思っています。

さて、せっかくですので観光地としても今人気の「福岡」についてあまり知られていない一面を紹介いたします。

まずは「福岡」という地名の由来について(諸説有るようですが。。。)、福岡の旧国名は筑前としてそこに「博多」という古くから栄えていた商都が有ったのですが、関ヶ原合戦後にこの土地に入封されてきたのがかの有名な黒田長政(父は更に有名な黒田官兵衛(如水))であります。

この黒田家の出自が備前福岡(現長船町福岡)にあり入封された際にこの地を「福岡」としたようです。なので割と岡山とは縁の有る場所と言えるでしょう、なかなか福岡地元民には話しづらい内容ですが、。。。

そんな福岡のイメージはやはり豚骨ラーメンという事になると思います。まあ間違ってます。とにかく豚骨ラーメンの店多過ぎです。か！実は福岡と言えは「うどん」なのです(そこで有名な？)

「うどん発祥の地」とされてまして、うどん屋さんもホント多い。そしてその麺たるや柔い！讃岐うどんの文化圏に生きる岡山の方々には衝撃かもしれません。



うどん発祥の碑

福岡で有名な「牧のうどん」というチェーンにいたってはうどんが提供される際に出汁の入ったやかんが付いてきます。なぜならネギや一味やらを入れたり、食べている間にも麺がどんどん出汁を吸ってしまうので注ぎ足す為なんです!? 食べるのが比較的遅いと思われる方はなかなかどんぶりの中身が減ってくれず、何とか食べ終わつた際にはお腹パンパンとなっている事でしょう。



牧のうどん

続いている福岡の食についてですが、もつ鍋やこれまた福岡発祥と言われる水炊きについてはよくご存じと思いますが、他にもひと口餃子や焼き鳥をはじめとする鶏料理も有名です。ちょい飲み文化が浸透している地域でもあり、ラーメン屋に負けじと焼き鳥屋の多い事！

さて、あと2つほど食絡みのトッピングをご紹介します。

福岡に観光に来られてほとんどの方が九州の酒は焼酎というイメージを持たれていますが、福岡、佐賀、長崎の北部九州は日本酒なんです！もちろん焼酎もたくさん飲まれています。

他の地域だと米(球磨)焼酎は熊本、大分から宮崎北部は麦焼酎、宮崎南部から鹿児島は手焼酎、沖縄なら泡盛といった具合に乱暴ではありますが大まかに分かれていますが、ただし麦焼酎の発祥は長崎県壱岐島だそうです。

最後に福岡の誇る日本三大歓楽街の一つ「中洲」についてのネタを一つ、中洲のシメのイメージももちろん豚骨ラーメンと思ってるらしいやんではないでしょうか？ いえいえ何の何の、実はかつ丼なんです！ 中洲大通りの割と真ん中に、数蕎麦、



数のかつ丼

というお店が在りまして名前のとおり蕎麦屋さんなんです。深夜まで営業してて店先はいつも待ちが出来るんですが、お客さんの7割はかつ丼を注文されるという有名店です。

もちろん他にもたくさんシメがありますが、豚骨以外のラーメン屋さんの名店も多く私のお勧めは、奉天食堂のもつ二らそばです。黒くやや甘みのある醤油ベースのスープの中にブリッブリのもつがゴロゴロ浮かんでいてそこらのもつ鍋屋よりも美味しいもつがいただけです。もつ増量も出来ます。



奉天食堂のもつ二らそば

さてさて今回は自己紹介とあまり知られていない福岡の一面について書かせていただきましたが前述のとおり、独身歴20年でお気楽極楽に一人遊びしている私の日常のあれこれを気ままに書いていきます。引き続きよろしくお願いたします。



profile おぐらさん

IQ71. 。

倉敷生まれ博多在住

岡山離れ早20年余、放浪の末に脱サラして11年前から福岡に定住。一人遊びに明け暮れる日々、一生懸命人生を謳歌中。